

台風 19 号被災地復興支援活動災害ボランティア活動報告

【期 日】令和元年 12 月 6 日～12 月 9 日 現地活動日 12 月 7 日～12 月 8 日

【場 所】福島県いわき市

【参加者】18 名 （防災士 17 名／一般参加者 1 名）

「奈良県防災士会は、12 月 6 日（金）21 時に奈良を出発し、災害復興支援ボランティアとして福島県いわき市へ行って来ました。参加者は、大阪府支部 1 名、和歌山県支部 1 名を含め 18 名。また、現地で福島県支部 2 名の方と合流し、一緒に支援活動を行いました。

バスでの長距離移動となり多少不安もありましたが、さほど疲れもなく天候にも恵まれ、少しではありますが被災者の方への支援活動ができたと思います。私自身、昨年に続き 2 回目の支援活動となりましたが少しは事前の準備含め要領もよくなり無事に活動を終える事ができました。自分自身も幼少期は大型台風の度に川が氾濫（洪水）し近隣の住居への浸水、通学路の崩壊、橋が流されたりと川の恐ろしさを経験している身でも有ります。激流化した河の音、濁った色、のみこまれる雰囲気はいまでも鮮明に思い出せます。

さて、今回の支援チームは 4 名×4 班構成で編成されました。派遣先は皆同じ場所となり、各班の人員特徴を生かして作業分担を責任者、班長より指示がなされました。作業内容はとしては堆積物の回収作業、網フェンスの解体と撤去、流木瓦礫、堆積土砂の回収作業に従事。

場所は、1 日目は小川地区、2 日目は下平窪地区。ボランティアセンターから近隣サテライトまでは車にて送迎して頂きサテライトにて書類への記入、資機材をお借りして依頼先まで移動。

【12 月 7 日：1 日目活動】

★いわきボランティアセンター到着

一部プレハブ 2 階建てのボランティアセンター（先月まではテントだったそうです。）



★派遣先

いわき市の小川町仲屋敷地区です。夏井川に面しており越水により大きな被害を受けた地域です。また後川原地区付近は堤防が大きく決壊しており道路の欠損、陥没も多く見られました。

作業内容は、畑へ流れ込んだ流木・土砂ごみ、流入してきた藁の除去と境界に面した網フェンスの除去です。土砂、藁などは土嚢袋に回収し指定された場所へ積み上げる作業となります。流木類も同じ様に指定場所に積み上げて作業を行いました。福島県防災士会からも 2 名の方に合流頂き総勢 20 名で活動。一軒めの依頼を午前中に終え、午後からは、たまたまですが隣の敷地の御宅からの増員要請があり、午前中より作業されていた地元のボランティアグループと依頼の主のご夫婦様と合流し午前中と同じく流木・土砂ごみ、流入してきた藁を土嚢袋へ回収し積み上げる作業を引き続き行いました。倒木、流入

木の枝も多く有り、撤去の順序と保管場所について考慮しながら作業を行いました。
作業を進めるなかで、改めてすばらしいと思った事がですが、今日まで知らなかった人々がみな自然と声を掛け合い息の合った連携が生まれ指示されなくても阿吽の呼吸といえますか先読みして率先して動く姿です。自らボランティアに参加される意識の高い方々ではありますが、あわせて人情味にあふれた皆さんでした。

【1 日目の活動様子】

作業開始！



作業完了



午後からは合同チームで活動！



災害の爪痕



【12月8日：2日目活動】

2日目の活動先は、平窪地区へ入りました。この地区の下平窪取水場が川の氾濫により被害を受けた事により水道の復旧が遅れてた地区でもあります。依頼宅は堤防の決壊場所が目視できる程の近い場所の御宅で、発災時は川のようになって濁流が押し寄せるという状況下、何とか自宅の高所に避難して命は助かったと言う方の敷地内の泥の掻き出しと通路の整備です。

多くの土砂が流入し堆積しており、立派な庭木も土に覆われてました。水分を多く含んだ土は重たいので掻き出す事も土嚢袋に詰めて運ぶことも大変でした。最後は集積場所へ積み上げる作業もあり体を労り

ながら作業となりました。今回の支援活動にて一番の喜びは、ご依頼主（家主様：ご婦人）が今回の水害にて水没し、わずかであるが何とか回収できた写真アルバムより自宅庭の満開の花の美しい庭園の写真を見せてくださいました。お話を伺いながら見事な庭に我々も素直に美しいと見惚れてご主人様とのなごりなど傾聴させてもらい、舅の供養になりますとお話し頂きお手伝い出来てよかったと思いました。災害支援において色々な手段、方法があると思いますが心理的な支援も大きな役割であるのでお話を聞けて良かったです。昨年ですがPFA（心理的応急処置）の研修を受ける機会が有りこう言う事かと思った次第です。わずかな時間の活動ではありましたが出来る範囲で最大限の活動ができたと思っています。無事に終え帰宅でき安堵しております。

サテライトから依頼宅まで資機材をもって徒歩で移動（20分くらい）



本日の依頼宅 大量の土砂が庭に堆積してます。



家屋ですがまだ床板もそのまま、復旧するには多くの時間がかかります



依頼内容を確認して作業開始です。





土砂の除去作業を行い、整地しながら少しずつ元通りに。



決壊現場と被害を受けた民家と取水場。水道の再開の遅れに



この度のボランティア活動においてご支援頂きました社会福祉協議会の皆様、現地ボランティアスタッフの方々の大変お世話になりました。ありがとうございました。
最後に、台風被害にあわれた皆さまに心よりお見舞を申し上げます。

(記：大坂間防災士)

